



ŌMIYA NEWS



No.184 2024年5月17日 JR東労組大宮地本

会社による懲罰的日勤教育に対し 連帯する仲間から共にたたかう 激励を受ける！！



ŌMIYA NEWS



No.102 2023年12月28日 JR 東労組大宮地本

大地申第16号 第5回交渉 その② 12月25日開催！

安全・安定輸送を阻害する長期にわたる懲罰的日勤教育と、一部管理者によるパワーハラを是正し、真の原因究明による正常な職場運営を求める申し入れ

議論②「本人が日勤教育終了間際に書かれた決意表明の有効性について」

- 組：前回交渉で労働組合側から「本人を追い込む決意表明はやめるべきだ」と求めて、会社から「中には好事例もある」と回答がされ具体的な事象を求めて交渉が中断したが具体的な好事例は？
- 会：(モビサ)の前任者が 前職場での内容を思い出し「好事例」と回答したが、その中身を検討した結果「好事例ではない」と判断したため、その内容について修正したい。
- 組：では労働組合として「赤入れ」までする決意表明は必要ない」と主張したがそれで良いか？
- 会：事象を二度と起こさないという事で今後どういった事を今後取りこんでいくのかを自覚出来ると考えている。今回、(決意表明文に)一部抽象的な表現があったのでアドバイスしたものである。
- 組：(決意表明の一部読み上げ) 決意表明を読めば本人がしっかりと自分の弱点を把握し、どのように自分が行動する事でその弱点を克服し、その先の決意表明まで書かれていて本人は良く分かっているではないか！
なぜ管理者はここまで加筆・修正したのか！！まさに追い込んだ証拠だ！！
- 会：本人が書いたものがベースだと思うが具体的に書いた方が自覚出来ると思いついたアドバイスした。
- 組：修正回答の議論も冒頭で行ったが修正回答した支社の方は決意表明はやったのか？
- 会：やっているかやっていないかと言えばやってはいない。
- 組：支社でやらないのに現場にはやらせていて悪質だ！これではただの**血判状だ！！**

○日勤教育を振り返って書いた決意表明の内容○

- 何の教育で？→「シミュレーターを活用した学び直しでは・・・」
- 自分の弱点は？→「構やがりが入ったりして・・・」(※割り込み要因)
- 弱点の克服は？→「声を大きく出して指差喚呼を行なう事で・・・」
- 今後の決意は？→「さらに精度を上げていきます」

青文字：組合員が決意表明に書いた内容です。

**本人を徹底的に追い込んだ
悪質な決意表明は許されない！**



- 第一回交渉 2023年 4月 14日：事象発生時等の時系列について
- 第二回交渉 2023年 4月 27日：会社の行った4M4Eについて
- 第三回交渉 2023年 6月 29日：4M4Eの有効性について
- 第四回交渉 2023年 7月 27日：会社が行かせた決意表明について
- 第五回交渉 2023年12月 25日：本人を追い込んだ決意表明について

会社は懲罰的な教育で病欠まで追い込んだ事実を受け止め、速やかに団体交渉を開催するべきだ！